

ミレニアムリテイリンググループの発足について

(株)十合は、(株)西武百貨店の第三者割当増資を引き受け、同社の筆頭株主となりました。これを契機に(株)十合、(株)そごう並びに(株)西武百貨店の3社は、これまでのアライアンス関係を発展させ、新たな百貨店グループを発足することに合意し、本日、「グループ経営への移行に関する基本合意書」を締結致しました。

グループ名称は「ミレニアムリテイリンググループ」とし、(株)十合は「株式会社ミレニアムリテイリング」と社名を変更致します。

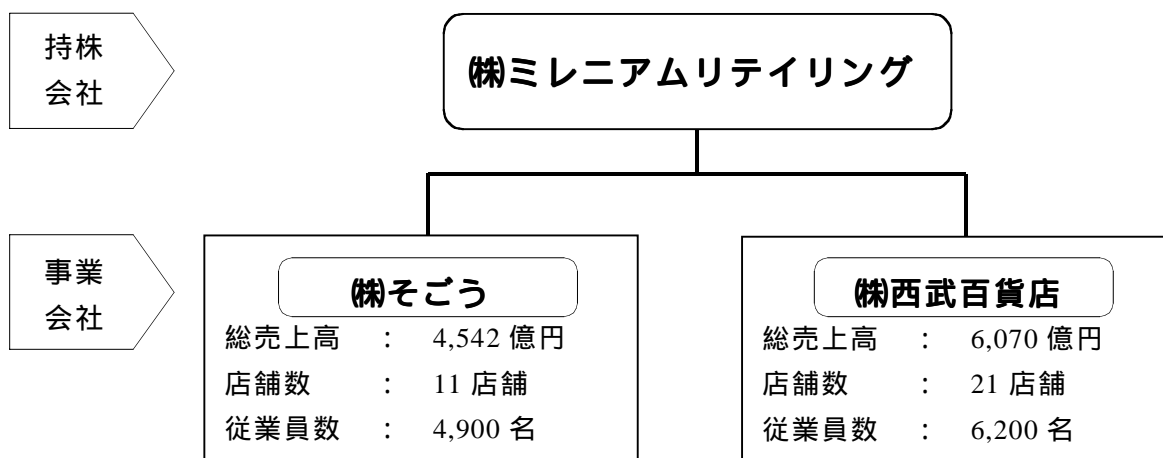
(株)ミレニアムリテイリングは、持株会社としてグループ全体の本部機能を担い、(株)そごう並びに(株)西武百貨店は、事業会社として百貨店事業の運営機能を担うこととなります。

グループ発足に向けたスケジュール（予定を含む）

- (1) 5月2日 : (株)十合が、(株)西武百貨店へ50億円を出資し、発行済株式の43.6%を取得
- (2) 5月12日 : グループ3社は、「グループ経営への移行に関する基本合意書」の締結を各々の取締役会で決議
- (3) 5月28日 : グループ3社は、新たな経営執行体制を、各々の株主総会並びに取締役会にて決議
- (4) 5月28日 : (株)十合は、(株)そごう及び、(株)西武百貨店との「経営指導契約」をそれぞれ締結することを取締役会で決議
(株)そごう並びに(株)西武百貨店についても、(株)十合との「経営指導契約」の締結を各社の取締役会にて決議
- (5) 6月1日 : (株)十合は社名を(株)ミレニアムリテイリングに変更、本社を東京都千代田区に移転し、グループ経営体制をスタート

両事業会社を束ねることとなる(株)ミレニアムリテイリングは、シナジー経営を実践することにより、「量の拡大」を「質の向上」に転換し、両事業会社の収益改善に邁進して参ります。また、両事業会社の企業価値の拡大を通じて、新たなグループ価値の形成を図って参ります。

〔 1 〕 ミレニアムリテイリンググループの概要



02 年度実績数値、総売上高はテナント扱い高を含む、店舗数、従業員数は 02 年度末

店舗構成 注 1

・店舗類型

	大型店 (500億超)	標準店 (200億超)	小型店 (200億未満)	計
そごう	4	5	2	11
西武	2	6	9	17
計	6	11	11	28

・エリア分布

	店舗数	店舗 総売上高	シェア
北海道	2 店舗	4 2 9 億円	4.5 %
首都圏	1 3 店舗	6, 0 3 8 億円	6 4.3 %
東海・北陸	5 店舗	6 0 8 億円	6.5 %
関西・四国	6 店舗	1, 6 4 3 億円	1 7.5 %
中国	2 店舗	6 7 9 億円	7.2 %

顧客構成 注 2

・メンバー顧客構成

	そごう ミレアムメンバー	西武 クラブオメガメンバー	合計
顧客数	350万人	350万人	700万人
メンバー売上高	2,366億	2,863億	5,228億
シェア	55%	67%	61%

・メンバー顧客年齢分布

	~30代	40・50代	60代~
そごう	49%	35%	16%
西武	63%	27%	10%

・商圏人口：4,700 万人 - 全国シェアの 38%
 ・年間来店客数：3 億人 - 1 日 83 万人来店

注 1) (株)西武百貨店の店舗数は再建計画にある 03 年度閉鎖予定の 4 店舗除き

注 2) メンバー売上高シェアは店舗売上高 (テナント扱い高除く) に対するシェア

事業会社の中期事業目標

(単位 : 億円)

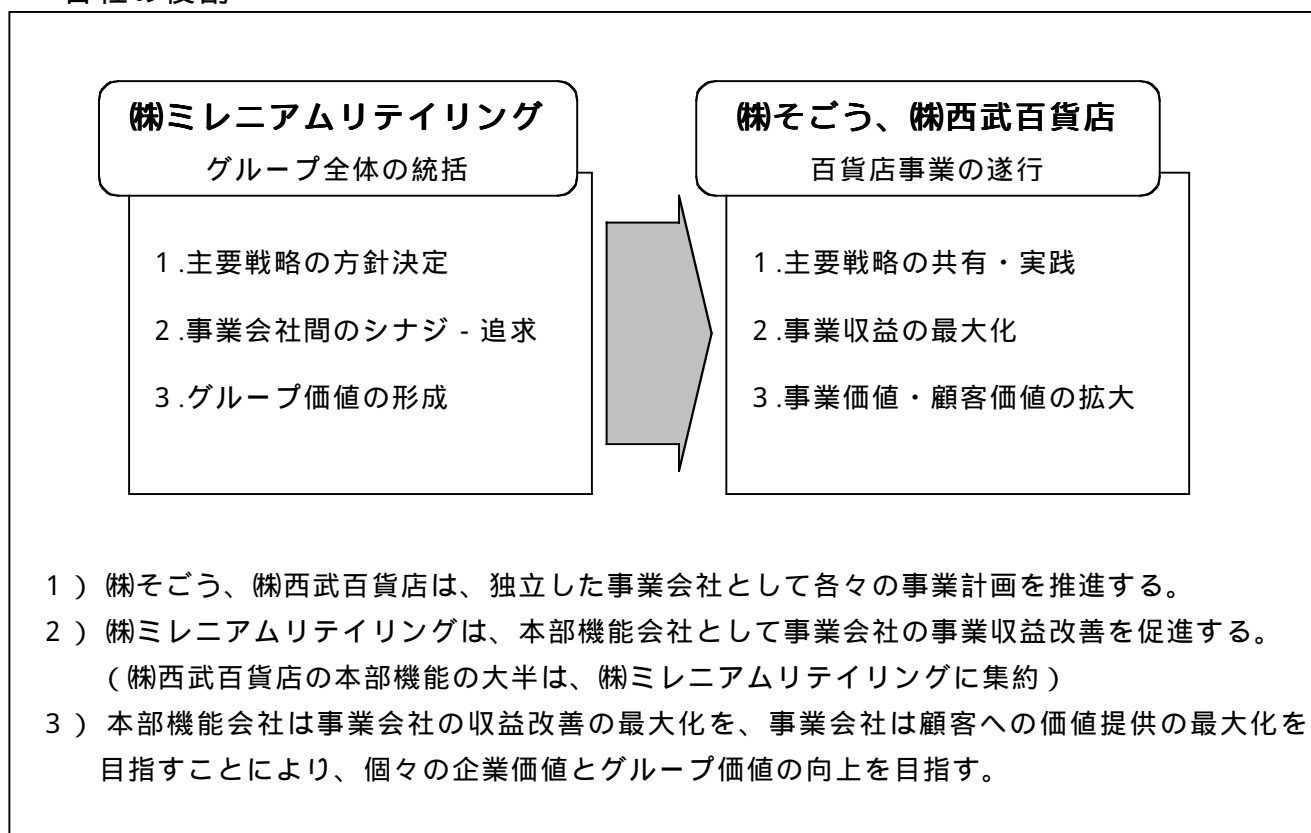
		02 年度	03 年度	04 年度	05 年度
(株)そごう	総売上高	4, 5 4 2	4, 6 0 0	4, 7 0 0	4, 8 0 0
	営業利益	6 9	8 5	1 0 5	1 2 5
(株)西武百貨店	総売上高	6, 0 7 0	5, 4 6 3	5, 1 6 0	5, 0 6 8
	営業利益	9 7	1 3 3	1 6 6	1 8 4
単純合算	総売上高	1 0, 6 1 2	1 0, 0 6 3	9, 8 6 0	9, 8 6 8
	営業利益	1 6 6	2 1 8	2 7 1	3 0 9

債務超過解消年度 : (株)そごうは 03 年度、(株)西武百貨店は 04 年度に債務超過を解消予定

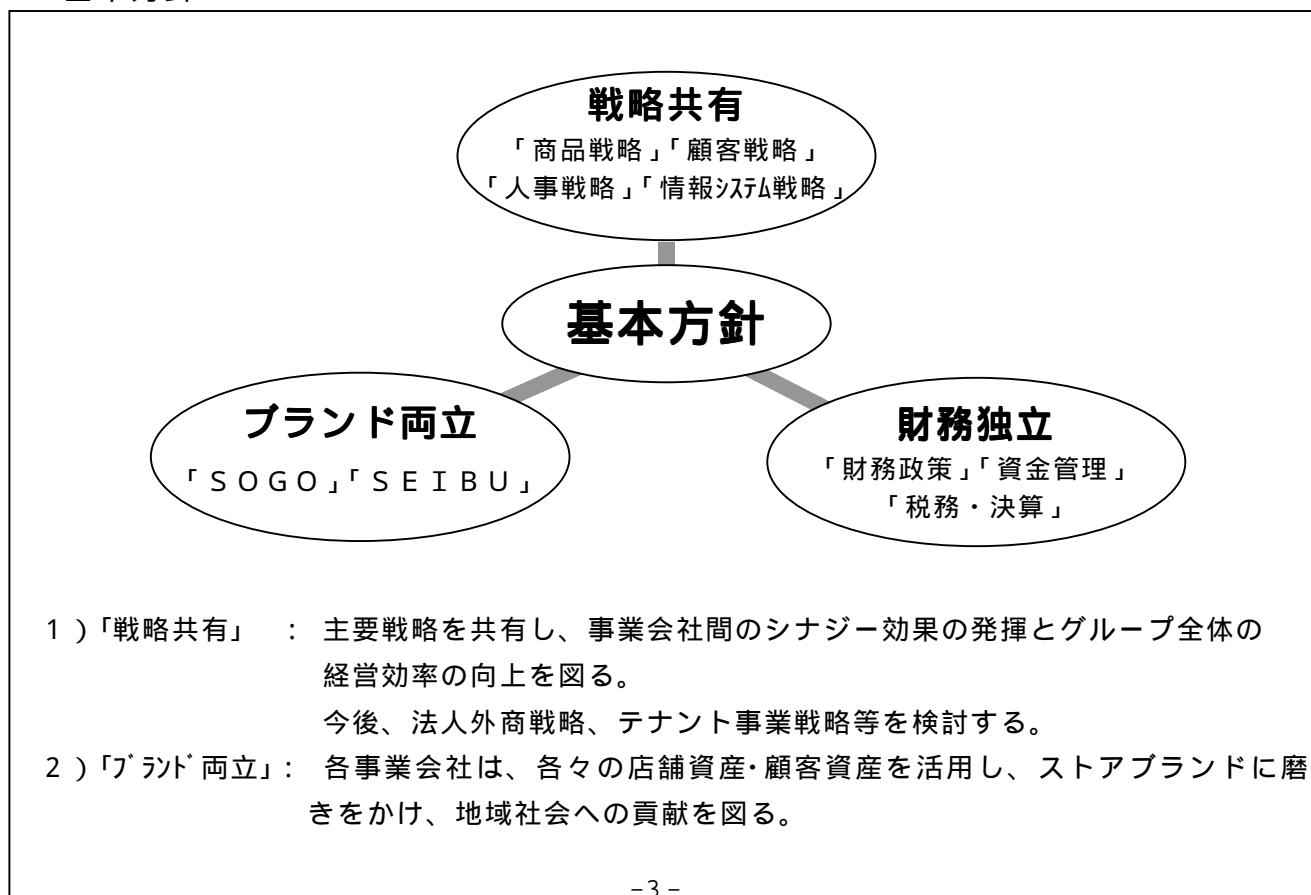
資本政策の投入 : (株)ミレニアムリテイリングの資本増強は、各事業会社の債務超過解消年度を踏まえ、03年度決算後、04年度決算後に段階的増強を予定

〔2〕ミレニアムリテイリンググループの役割分担と基本方針

各社の役割

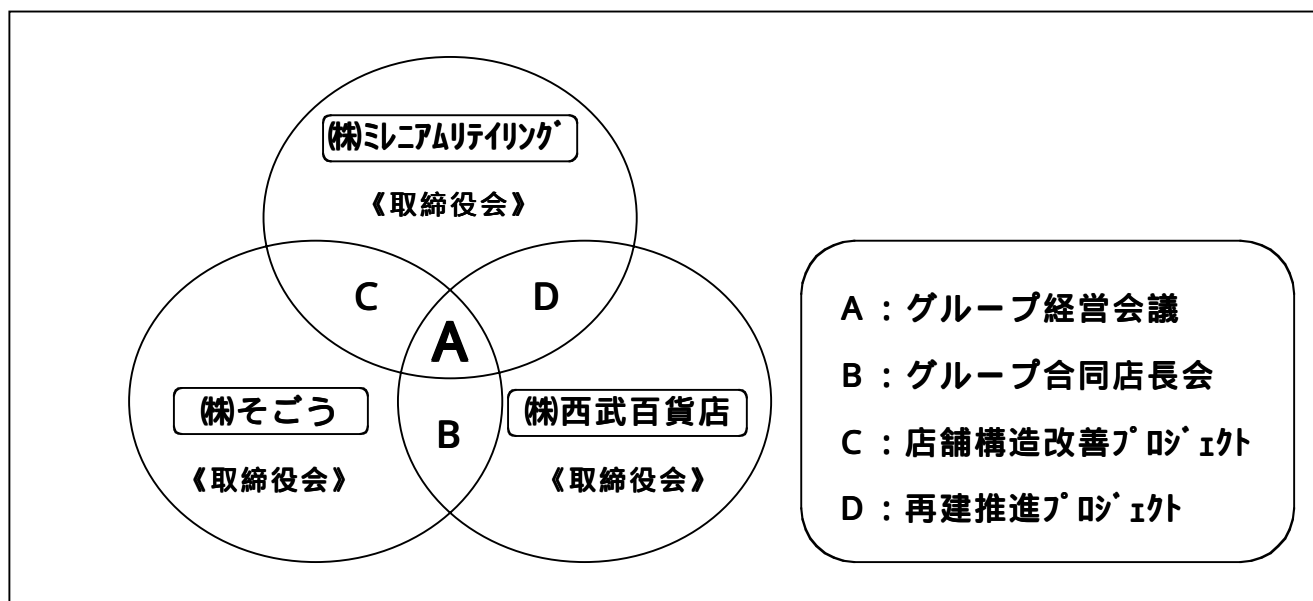


基本方針



3)「財務独立」：各事業会社は独立した事業体として、独自の財務活動を実施する。

〔3〕ミレニアムリテイリンググループの運営方針



グループ会議体等

A グループ経営会議

- ・ミレニアムリテイリング社長を議長とし、(株)ミレニアムリテイリング常勤役員、事業会社役員で構成し、グループトータルの戦略・施策を討議する。

グループ主要戦略の討議と方針決定 各事業会社の収益改善策の討議と方針決定

- ・グループ経営会議の下部組織として「グループ戦略コミッティ」を設置し、外部専門家・外部組織を交え個別戦略の構築を行う。

B グループ合同店長会

- ・ミレニアムリテイリング副社長を議長とし、両社の店長に対し共通戦略・施策の徹底を図る。

両社共通の戦略の徹底 収益改善プログラムの共有化 ベストプラクティスの交換

C 店舗構造改善プロジェクト(そごう)

- ・今後の店舗構造改善、リニューアルプランの立案とその推進を行う。
- ・03年度秋予定：大宮店、広島店

D 再建推進プロジェクト(西武百貨店)

- ・「私的整理ガイドライン」に基づく再建計画におけるリストラ案件の推進と進捗管理を行う。
- ・03年度リストラ計画：閉鎖店舗の対応、関連会社のリストラ、非営業用資産の売却等

グループガバナンス

経営管理委員会

- ・「私的整理ガイドライン」に基づく西武百貨店の再建計画の進捗管理と、グループ経営の透明性の確保、並びにグループガバナンスの強化を目的として、「経営管理委員会」を新たに設置する。
- ・構成メンバーは、各社社長に加え外部有識者等を含めた人選を行い、グループ及び各社の経

営全般に対するチェックとアドバイス機能を担う委員会とする。